

小田急沿線 自然ふれあい歩道

小田急沿線自然ふれあい歩道とは、
小田急沿線に点在する身近な自然や文化財などを紹介する
環境活動の一つです。コースは全70コース。
各コースの最寄り駅でチラシを配布しています。

百合ヶ丘駅～新百合ヶ丘駅コース

眺望の良い起伏に富んだ丘陵地に展開する、里山の植物に親しみながら巡るコースです。

コース内の主なみどころ



【① 高石神社】

1654年に加賀美金右衛門尉正吉によって建立され、祭神は天照大神です。かつて源義経が奥州へ赴く際、道中の難を免れるために神事を行ったと伝えられています。境内周囲にはクスノキの大木のほか、常緑樹が多く見られます。



【② 香林寺・五重塔】

1525年に創建された臨済宗建長寺派の寺院で、本尊は十一面観世音菩薩です。1987年に建立された五重塔は、古来の工法に近代的手法を加えて建築された日本唯一といわれる禅宗様式の五重塔で、その優美な塔形は印象的です。



【③ タブノキ】

邸宅の門前に立つ圧倒的な量感のタブノキは、川崎市の保存樹木に指定され、また、川崎市「まちの樹50選」にも選ばれています。樹上にはノキシノブがじゅうたん状に着生し、古木の趣を高めています。



【④ 向原の森公園】

自然の地形と樹林を生かした面積1.6haの公園です。園内はクスギとコナラを主体とする林が広がり、ホオノキやイヌシデなどの落葉広葉樹も楽しみながら散策できます。春にはシロバナマンテマが愛らしい花をつけます。



【⑤ 金程万葉苑】

緑地保全地として残された区画を生かしながらつくられた公園で、ヤブツバキ、アセビ、モミなど、万葉集に詠まれている植物が多く植栽されています。それらの植物を詠み込んだ万葉集の和歌の札も掛けられています。



【⑥ 史跡勝坂】

戦国時代に名君として知られた北条氏康が、初陣（小沢原の戦い）を飾った場所と伝えられています。氏康が、「勝った勝った」と声を発して坂を駆け上がったことから勝坂と呼ばれるようになったと伝えられています。

スマートフォンをお持ちなら…

小田急沿線自然ふれあい歩道アプリを無料配信中！

スマートフォンのGPS機能を使って、現在位置の確認も可能。
お散歩のお供に、便利なアプリをご活用ください。



列車運行状況および
各駅時刻表はコチラから

小田急電鉄

検索

www.odakyu.jp



小田急線 自然ふれあい歩道 コースマップ



ルート 合計約6.0km

メイン 百合ヶ丘駅 600m、高石神社 940m、香林寺・五重塔 780m
ルート タブノキ 940m、向原の森公園 390m、金程万葉苑 430m、
 史跡勝坂 690m、もみじが丘公園 1240m、新百合ヶ丘駅

凡例	
	メインルート
	サブルート
	道路
	鉄道
	高速道路
	川・池
	緑地
	畑
	公園・果樹園
	広場・運動場など
	水田
	建物
	みどろポイント
	信号機
	神社
	ワンポイント解説
	カーブミラー
	ビューポイント
	看板・道標
	寺
	あずまや



2018年2月28日現在 ※本マップに記載の情報は、道路状況などにより変更が生じている場合があります。